

第 18 回全国大会開催にあたって

大会テーマ「共通テスト『情報』を踏まえた情報科教育の次へのステップ」

「情報Ⅰ」が必修化され、また初めて共通テスト「情報」が実施されたことを踏まえ、情報科教育は新たな段階へと進もうとしています。共通テスト「情報」の初年度の受験者は約 30 万人に上ったことは、情報科教育の重要性を社会に示す画期的な出来事となりました。この流れの中で、明らかになった課題や成果を糧に、これからの情報科教育でどのような力や態度を育成し、またどのように深化・発展させていくかは重要な観点となります。

大会テーマ「共通テスト『情報』を踏まえた情報科教育の次へのステップ」には、高等学校をはじめとする授業実践と共通テストへ向けた取り組みで得られた知見を活かし、「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」の指導内容や方法をさらに進化させていこうという思いが込められています。大会では、情報科教育の質的向上や、他の教育段階および社会との連携、最新技術（AI やデータサイエンス等）の活用も視野に入れながら、生徒の思考力・判断力・表現力を促進する実践や取り組みについて議論します。

日本情報科教育学会 全国大会委員会 委員長
山川広人（公立千歳科学技術大学）
2025 年 7 月 5 日